

H30 年度・コンクール等結果

岡山県高校生美術コンクール参加

岡山県高校生美術コンクールは、全県の高校美術部員が集い、8部門で作品の腕を競う美術部最大の大会です。今年度、本校からの参加者69名のうち、半数を超える39名が受賞することができました。

実施日：6月2日（土）

会 場：倉敷芸術科学大学

参加数：69名

受賞者：39名（1年11名、2年15名、3年13名）

〈石膏像デッサン部門〉

銀賞 小野未智

〈静物デッサン部門〉

金賞 大智美優

銀賞 神田あいり

〈静物画部門〉

金賞 斎藤みんと 川口照栄 小川瑞稀 野村しらべ
眞田ねね 三好菜々穂

銀賞 板野尚美 藤原なつ美 野上真希 松田乃音

〈風景画部門〉

金賞 林 萌衣 大西利花メイ

銀賞 篝 佑伽

〈構想画部門〉

金賞 峰尾穂乃香 小原 翼 永山つかさ 中山悠子

銀賞 石田怜弥 中村優香 東 仁美 田邊 緑

中村さくら 中峠 和 石井光莉 田口珠暉

〈ポスター部門〉

金賞 黒住建仁 川崎もも（最優秀賞）

銀賞 林 万智

〈彫塑・基礎造形部門〉

金賞 宇川加純

銀賞 片岡悠莉 小林実苗

〈キャラクターイラストレーション部門〉

金賞 板谷彩花 入江真瑚 大國実夢 田口愛実



■総社地域夏祭りポスター制作協力（地域貢献活動）

例年総社地域の夏祭りポスターの図案を、美術工芸系生徒が描かせていただいています。が、今年度も3年生がチャレンジして、「総社宮輪くぐり祭」や「雪舟フェスタ」のポスターとして採用していただきました。ただし今年度は、7月の豪雨災害により「雪舟フェスタ」が無期延期となり、幻のポスターとなってしまったのは大変残念でした。

総社宮輪くぐり祭ポスター
三年 林 萌衣



雪舟フェスタポスター採用
三年 行本美晴



■岡山県高校生芸術フェスティバルポスター

全国高等学校総合文化祭の岡山県壮行式の意味合いをもつ、高校生芸術フェスティバルのポスター原画コンクールにおいて、本校から出品した六名全員が特選に選ばれ、その中でも3年生の黒住君の作品がポスター図案に採用されました。しかし7月の豪雨災害により会場の倉敷市マービーふれあいセンターが使用不能となったことから、芸術フェスティバルそのものが中止となり、残念ながら表彰式等も行われませんでした。

高校生芸術フェスティバル
三年 黒住建仁



■第42回全国高等学校総合文化祭信州大会参加

開催日：8月7日（火）～11日（土）

開催地：サントミュージゼ〈上田市立美術館〉

（長野県上田市天神）

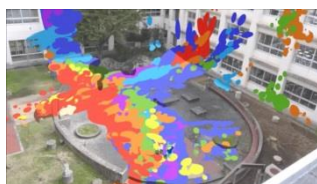
参加生徒：立体の部 3年 小林実苗

映像の部 3年 行本美晴

全国高等学校総合文化祭の、美術・工芸部門岡山県代表として2名が参加しました。



小林実苗「(声にならない叫び)」



行本美晴「paint!」



■第17回吉備再発見写生大会

銀賞 2年 秀川七海

■岡山県高校生芸術フェスティバルポスター原画コンクール

ポスター特選 3年 黒住建仁（ポスター採用）

田村胡桃 石田怜弥 大智美優

篝 佑伽 三宅麻友

■第10回 環境教育ポスターコンクール

文部科学大臣賞 2年 野村しらべ



■第43回全国高等学校総合文化祭（さが総文）岡山県選考会

県代表選出 2名 立体の部 2年 木村友香 ・ 秀川七海



木村友香
「流れる」



秀川七海
「欲望」

■岡山県教育カレンダー児童生徒絵画作品コンクール

主 催：岡山県教育弘済会

搬 入：11月20日

結 果：特選 2年 藤原なつ美

入選 3年 大智美優

■第50回岡山県高等学校美術展出品と受賞

実施日：会 期 1月30日（火）～2月4日（日）

場 所：岡山県天神山文化プラザ第一・二展示室

受 賞：岡山県高等学校美術展大賞 黒住建仁（デザイン部門）

岡山県高等学校美術部会会長賞 籾 佑伽（デザイン部門）

岡山県高等学校美術部会理事長賞 岡本佳那子（絵画部門）

審査により各賞が贈られ、会期最終日に表彰式が催行された。
今年度、上位三賞を本校出品作品が独占することができました。



■高梁川流域連盟高校生絵画展出品と受賞

会 期：3月6日（火）～11日（日）

場 所：倉敷市立美術館

本校出品作品：十五点（十五名）

受 賞：佳 作 三十期生 板野七海 岡本佳那子 福本一葉

現三年 岸舞都加

現二年 三宅志佳 入江真瑚

二十九年度本校から出品した作品のうち、六名の作品が佳作に選出されました。応募した作品はすべて会場に展示され、受賞作品は高梁川流域の市町村で巡回展示されました。

H30 年度・行事

■動物クロッキー実習の実施

日 時：4月30日（月）

場 所：つやま自然のふしぎ館（津山市鶴山公園内）

参加生徒：12名（2年5人、3年7人）

彫塑専攻生＋αの生徒が参加して動物クロッキー実習を行いました。

彫塑専攻の三年生は動物をテーマにした作品作りのための取材であり、ここでの剥製スケッチでは、細部をじっくりと観察することができ、イメージをふくらませるのにも大変役に立ちます



■第一回美術講演会

実施日：５月１９日（土）一学期中間考査最終日

１３時２０分～１５時３０分

場 所：工芸教室

参加者：美術工芸系及び美術部生徒、教職員、教育実習生、
岡山後楽館高校美術部生徒と引率教員

講 師：ヤノベケンジ氏

（京都造形芸術大学教授）

演 題：「怒濤の自作語り」

今年度第一回目の講演会では、京都造形芸術大学教授のヤノベケンジ先生に講演を依頼した。ヤノベ先生は、瀬戸内国際芸術祭でビートたけしさんと一緒に作品を制作されたこともある現代美術作家で、自身の制作に関して幼少期や学生時代も含めて、「怒濤の自作語り」をしていただきました。



■中学生体験講座

実 施 日：六月九日（土）

場 所：素描教室・工芸教室

講 師：本校美術工芸系教職員三名

日 程：九時 工芸教室で教員紹介と日程説明

九時十五分 実技講習

十一時五十分 各教室で講評・アンケート

十二時二十分 終了解散

参加人数：三十四名（素描二十九名、クラフト五名）

参加校数：二十三中学校



■人体（裸婦）素描講習会

実 施 日：7月28日（土） 9時～16時30分

場 所：素描教室

参 加 者：美術工芸系3年及び1、2年希望生徒 30名



■夏季絵画合宿

実 施 日：8月3日（金）～5日（日）

場 所：鳥取県大山・大山寺一帯

宿 泊 所：とやま旅館（鳥取県西伯郡大山町大山）

参 加 者：美術工芸系及び美術部1、2年生徒 40名

美術工芸系の夏の中心行事です。今年度は七年ぶりに宿舎を変更し、大山寺参道にあるとやま旅館を宿舎として合宿に臨んだ。これまでと異なり、自然だけでなく大山寺周辺の建築物等も含めた構図を描くことができるエリアでした。

し



■夏季人物デッサン講習会

実 施 日：8月18日（土）

場 所：素描教室・美術演習室

参 加 者：美術工芸系及び美術部生徒

モ デ ル：29期生卒業生 および 30期生卒業生

毎年卒業生に来てもらって、人物をモデルにデッサンの講習会をしています。

1日（6時間）かけてデッサンを描き、審査・講評をして終了します。



■第二回美術講演会

実施日：10月17日（水）二学期中間考査最終日

13時20分～15時30分

場 所：工芸教室

講 師：坂口庄平氏（京都アートスクール講師）

演 題：「美術系大学の入試傾向と対策」

全国の美術系大学の入試動向と情報を得る目的で、例年進路講演会を実施しています。今年度は当初7月11日に計画していたが、その直前に西日本豪雨災害が発生し、延期を余儀なくされました。幸い、京都アートスクールのご厚意により、十月の第二回講演会として実施できることとなりました。多くの合格再現作品も持参してくださり、その鑑賞会の合間には種々に質問する。



■第31回美術工芸系作品展

会 場：岡山県天神山文化プラザ第3・4展示室

会 期：12月11日（火）～16日（日）

作品数：454点

今年度は、美術工芸系生徒69名に加え、美術部生徒7名と工芸選択者が今年制作した素描、絵画、彫塑、デザイン、工芸などの作品を展示しました。

美術工芸系の生徒にとっては、日頃の成果を発表できる貴重な場です。

多くの来場者に来ていただけて、充実した展覧会になりました。



■岡山県立大学連携講評会

実施日：12月11日（火）

会 場：岡山県天神山文化プラザ第三・四展示室

参加者：49名（美術工芸系1，2年生、）

講 師：作元朋子氏（デザイン学部講師）

岡山県立大学デザイン学部の協力を得ての作品講評会も今回が五回目の実施となった。今年度は造形デザイン学科で陶芸がご専門の作元氏に講師を依頼した。全体講評の後には、希望者に個別の講評もしてくださり、技術的な示唆や制作に対する姿勢についてお話をいただきました。



■冬季デッサンコンクール

実施日：1月5日（金）

場 所：素描教室

内 容：石膏像（胸像）デッサンを6時間で1枚描く

新年恒例のデッサンコンクールは石膏デッサンです。美術工芸系の生徒にとっては新年の「描き初め」となる。



■冬季鑑賞学習（高大連携事業を含む）

実施日：1月20日（土）

場所：大原美術館・倉敷市立美術館（倉芸大卒制展）

参加生徒：20名（1年17名、2年3名）

倉敷芸術科学大学卒業制作展と大原美術館常設展の鑑賞会を実施しました。芸術系大学の卒業制作を鑑賞し、大学における作品制作の現実を直に感じる機会です。



■プロダクトデザイン講習会

実施日：3月2（金）

講師：米本昌史氏（京都精華大学准教授）

今回のプロダクトデザイン講習会では、「鋳込みの技法を用いた花器の制作」がテーマで、プラ板を使って型を作り、その中に水溶性樹脂を流し込んで一輪挿しの花器を制作しました。参加した生徒は、花器という使用目的を満たした上で、オリジナリティのあるデザインにすることに四苦八苦しつつも、普段の授業ではなかなか扱うことのできない樹脂素材を使用することに目を輝かせながら、楽しく制作していました。



■Because 展

会 期：3月14日（水）～18日（日）

場 所：総社市総合文化センター

作品数：105点

入場者数：588名

第11回の開催となる「Because 展」で、3年生である30期生を中心に展示しました。会期中は大勢の来場者にお越し頂き、高校生らしい元気よさやその可能性に、多くの励ましの声を頂きました。Because 展は今回で一区切りとなりました。



DM
現三年 黒住建仁

■春季デッサンコンクール開催

実施日：3月27日（火）

内 容：人物デッサンを六時間で一枚描く

モデル：30期生卒業生3名

参加者：美術工芸系及び美術部生徒（1，2年）

春季デッサンコンクールは年度を締めくくる大切な行事で、一、二年生のみで行われます。人物モデルを前にして、クロッキーを二ポーズ描いた後、十ポーズで一枚のデッサンを描きます。最後に審査で賞が決まります。

